

会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回 滑川町水道審議会
開催日時	令和7年1月10日(金) 午前10時00分から11時15分まで
開催場所	滑川町役場 庁舎 2階 中会議室
出席者	<p>【滑川町水道審議会委員】</p> <p>小久保佐俊 吉田松江 吉野正浩 内田敏雄 岩崎 敬 野澤三智子 小船裕子 内田 實 福田雅樹 高坂省吾</p> <p>計10名(別紙名簿も参照)</p> <p>【上下水道課】 課長：宮島栄一 副課長：高坂真理子(経営担当兼務)</p>
会議内容	<p>1. 開会(司会進行：宮島課長)</p> <p>2. あいさつ(小久保会長)</p> <p>3. 議題(議長：小久保会長 宮島課長)</p> <p>(1) 料金改定について</p> <p>課長：前回の審議会において、36%改定ということでおまとめいただいたが、大口径利用者の基本料金の上昇率が大きすぎることから、事務局内でなるべく全ての利用者が公平な改定率で料金改定が行われるようにならないか再検討をいたしました。その結果今回新たに案を二つ作らせていただいたので、前回改定案をまとめていただいたのに大変申し訳ありませんが、改めて協議をお願いしたい。</p> <p>資料1は25%、資料2は30%のそれぞれ改定案であるが、従来の料金表の基本料金3区分、従量料金に概ね25%、30%の改定率を上乗せしたものである。</p> <p>吉野：一般家庭は何m³くらい使用しているのか。</p> <p>課長：2ヶ月で60~70m³くらいである。そのあたりだとA②の表で安い領域に入る。</p> <p>会長：事務局としては25%と30%のどちらの案を押しているのか。</p> <p>課長：事務局としては25%では令和10年度に赤字になり、黒字をできるだけ長くするには30%でいきたいと考えている。</p> <p>会長：事務局の提案では30%であるが、それでいかがか。</p> <p>(全員の了承)</p> <p>会長：それでは改定率30%でA案①かA案②かB案を選んでいくが、いかがか。</p>

	<p>課長：B案では使用水量によって値上げ幅のばらつきが大きい。また、B案は大口径の基本料金も近隣と比較して安いので、B案については今後調査・研究を重ねたいため、A案のどちらかをお願いしたい。</p> <p>会長：A案には①と②があるが、事務局的にはどう考えるか。</p> <p>課長：事務局はどちらでも問題ない考える。</p> <p>内田：B案の基本料金をA案に当てはめることはできるか。</p> <p>課長：結果としてB案のようにばらつくと思われる。</p> <p>小船：今後はいつ料金の見直しを行うのか見通しは立っているのか。</p> <p>課長：5年に一度経営戦略の見直しがあるので、そこで改定の見直しを立てる。</p> <p>小船：A案①とA案②で比較すると、A案②が一般家庭の家計に優しく見えるのでよいのではないか。</p> <p>岩崎：大口径については、滑川も企業が多いので、次のステップで検討してはいかがだろうか。</p> <p>吉野：基本料金の細分化については、今後事務局で見ていってもらいたい。</p> <p>会長：それでは改定率30%A案②でよろしいか。</p> <p>（全員了承）</p> <p><まとめ></p> <p>料金改定案は30%A案②（従来の料金体系に概ね30%を上乗せしたもの）を審議会の答申とする。</p> <p>（2）諮問への答申について</p> <p>課長より説明、原案通り了承。</p> <p>4. 答申</p> <p>小久保会長より大塚町長に答申書が手渡される。</p> <p>5. その他</p> <p>町長あいさつ</p> <p>6. 閉会（吉田副会長）</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滑川町水道事業料金改定案説明資料（資料No.1、2） ・財政シミュレーション（資料No.3） ・水道料金の改定について（答申）
<p>会議録の作成方針</p>	<p><input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録</p> <p><input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 要点記録</p> <hr/> <p>記録内容の確認方法</p> <p>決裁による報告・保存</p>
<p>その他の必要事項</p>	